

あなたが言っていることです

ヨハネによる福音 18:33b-37

（そのとき、ピラトはイエスに、）「お前がユダヤ人の王なのか」と言った。イエスはお答えになった。「あなたは自分の考えで、そう言うのですか。それとも、ほかの者がわたしについて、あなたにそう言ったのですか。」ピラトは言い返した。「わたしはユダヤ人なのか。お前の同胞や祭司長たちが、お前をわたしに引き渡したのだ。いったい何をしたのか。」イエスはお答えになった。「わたしの国は、この世には属していない。もし、わたしの国がこの世に属していれば、わたしがユダヤ人に引き渡されないように、部下が戦ったことだろう。しかし、実際、わたしの国はこの世には属していない。」そこでピラトが、「それでは、やはり王なのか」と言うと、イエスはお答えになった。「わたしが王だとは、あなたが言っていることです。わたしは真理について証しをするために生まれ、そのためにこの世に来た。真理に属する人は皆、わたしの声を聞く。」

説教

朗読の内容を順をおって見てみましょう。

1) お前がユダヤ人の王なのか (18:33)

お前がユダヤ人の王なのか？ピラトは尋問の最初に罪状認否を被告人イエスに問いかけます。

2) あなたは自分の考えで、そう言うのですか。それとも、ほかの者がわたしについて、あなたにそう言ったのですか。(18:34)

はいか、いいえで答えるのがふつうの手順ですが、それはピラトさん自身の考えなのですか、それともほかの誰かの考えなのですか、とイエスは堂々とピラトに問いかけます。

3) お前の同胞や祭司長たちが、お前をわたしに引き渡したのだ。いったい何をしたのか。(18:35)

罪状認否を拒むイエスに対しピラトは追求します。あなたの同胞ユダヤ人が訴え、わたしはローマ人でユダヤ総督という立場で裁いている、ユダヤの王と認めないのならいったいおまえは何をしたのだ？

4) わたしの国は、この世には属していない。もし、わたしの国がこの世に属していれば、わたしがユダヤ人に引き渡されないように、部下が戦ったことだろう。しかし、実際、わたしの国はこの世には属していない。(18:36)

わたしの国はこの世に属していない。だから、わたしの軍隊はこの世には派遣されない。ここはピラトさんにはわからないでしょうね。イエスは自分のやったことはローマ人にしろユダヤ人にしろこの世に属する人には理解されないのだと知っているようです。

5) それでは、やはり王なのか(18:37)

ごちゃごちゃいっているが、この世ではないところで、とにかくお前は王なんだな。

6) わたしが王だとは、あなたが言っていることです。わたしは真理について証しをするために生まれ、そのためにこの世に来た。真理に属する人は皆、わたしの声を聞く(18:37)

ほら、やっぱりあなたもわたしの事を王だといってるじゃないですか。わたしは真理の証人で、真理に属する人にはわかるんだ。イエスはこの世に属する人にはわからないのだとおわせています。

きょうの朗読はここまでになっていますが、一連のイエスへの尋問のあとピラトは熟考したようで、イエスの無罪を確信します。そして訴えのとりさげを原告ユダヤ人支配者たちに交渉しますが、結局ピラトはユダヤ人たちに押し切られ、無罪のイエスは死刑となりました。

ポンテオ・ピラトのもとで苦しみを受け、十字架につけられ、死んで葬られ、よみに降り、三日目に死人のうちからよみがえり、天に昇られました。

わたしたちは使徒信条でこのように唱えるので、ピラトが死刑を言い渡したように思いますし実際にイエス処刑の執行命令をだしてはいるのですが、四つあるどの福音書でもピラトはイエスの死刑に反対しています。使徒信条の文言に反するようですがイエスは「ユダヤ人支配者およびユダヤ人民衆にの」とで苦しみを受け、十字架につけられ、死んだと福音書の伝えています。イエスはユダヤの王ではありませんが、真理の証人で神の国の王子です。だからこそイエスを信じるわたしたちには希望があります。わたしたちがイエスを王として仰ぐ日がおとずれますように。

使徒信条

わたしは、天地の造り主、全能の父である神を信じます。

また、その独り子、わたしたちの主イエス・キリストを信じます。

主は聖霊によって宿り、おとめマリヤから生まれ（ここで礼をする）ポンテオ・ピラトのもとで苦しみを受け、十字架につけられ、死んで葬られ、よみに降り、三日目に死人のうちからよみがえり、天に昇られました。

そして全能の父である神の右に座しておられます。そこから主は生きている人と死んだ人とを審くために来られます。

また、聖霊を信じます。† 聖なる共同の公会、聖徒の交わり、罪の赦し、体のよみがえり、永遠の命を信じます アーメン

共同祈願

すべてを導かれる主に信頼して祈りましょう。

- ・ 聖書をとおして語られる神のことばの真理を悟らせてください。わたしたちが日々、主キリストへの信頼を深めることができますように。
- ・ いのちに対する責任がある指導者たちに、正義の道を示してください。すべてのいのちが守られる世界と環境を築いていけますように。
- ・ 神のことばに養われた教会の一年が終わりに近づくなか、わたした

ちが信仰の歩みを振り返り、新たな心で主を待ち望むことができますように。

- ・（あなたに必要な祈りを追加してお祈りしてください）

キリストは王としてすべてを治められおられる。

救いの源である神よ、あなたはキリストのうちに一つになるよう、すべての人を招いておられます。み国の完成を待ち望むわたしたちが、心を尽くして主に仕えることができますように。

わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン